ＭＷ－ムウ－（2009）

メディア 映画
ジャンル サスペンス　アクション
製作国　日本
色彩　Color
時間　130分
初公開日 2009/07/04
公開情報 ギャガ・コミュニケーションズ
映倫　PG12

【キャッチコピー】
世界を変えるのは、
破壊か、
祈りか。

【解説】
　1970年代に『ビッグコミック』で連載され、その過激な描写から他の手塚治虫作品とは一線を画す禁断のピカレスク・コミックを、手塚治虫生誕80周年を機に実写映画化したサスペンス・エンタテインメント。政府が闇に葬った忌まわしき集団殺人事件の生き残りである２人の青年が、復讐に身を投じながら事件の真相を紐解くキーワード“ＭＷ（ムウ）”の謎に迫っていくさまを圧倒的スケールで描き出す。主演は「真夏のオリオン」の玉木宏と「鴨川ホルモー」の山田孝之。監督は「明日があるさ THE MOVIE」の岩本仁志。
　16年前、“沖之真船島”で島民全員が一夜にして虐殺される凄惨な事件が発生した。しかし、何故かこの事実は政府によって隠匿される。だがこの時、２人の少年が奇跡的に助かり、それぞれ異なる環境で現代社会に身を置いていた。ひとりは、神父として迷える人々を救済しながら自らの受難の記憶を克服しようと苦闘する賀来。そしてもうひとりの生存者である結城は、エリート外資銀行員の顔を持つ一方で密かに事件の謎を追い続け、当時の関係者へ冷徹な制裁を食らわせていたのだった。また事件の後遺症から自分に残された時間が僅かと悟り、次々と報復を重ねていく結城。そんな彼と特別な想いを込めた深い絆で結ばれながら結城の汚れてしまった魂を救おうとする賀来も、その暴走に引きずり込まれ、犯罪に荷担してしまう。こうした彼らの復讐劇はやがて刑事や新聞記者に嗅ぎつけられるものの、ある時“ＭＷ（ムウ）”という単語が事件の謎を解く鍵であることを突き止める結城と賀来だったが…。

【クレジット】

監督	岩本仁志
製作	松崎澄夫
	宇野康秀
	白井康介
	阿佐美弘恭
	堀越徹
	李于錫
	樫野孝人
	松谷孝征
	竹内茂樹
	久松猛朗
	島村達雄
	菅野信三

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

エグゼクティブプロデューサー	橘田寿宏		
プロデューサー	松橋真三		
原作	手塚治虫	Osamu Tezuka	
脚本	大石哲也		
	木村春夫		
撮影監督	石坂拓郎		
Ｂカメ撮影	迫信博		
特殊メイク	飯田文江		
美術	太田喜久男		
編集	浅原正志		
音楽	池頼広		
主題歌	flumpool	flumpool	『MW ～Dear Mr.&Ms.ピカレスク～』
録音	原田亮太郎		
照明	舘野秀樹		
スクリプター	湯沢ゆき		
整音	佐藤忠治		
装飾	竹内正典		
ＶＦＸスーパーバイザー	田口健太郎		
スタントコーディネーター	釼持誠		
スタイリスト	村上利香		
ヘアメイク	細川昌子		
助監督	戸崎隆司		
出演	玉木宏		結城美智雄
	山田孝之		賀来裕太郎
	山本裕典		溝畑
	山下リオ		美香
	風間トオル		三田
	デヴィッド・スターズィック	David Starzyk	
	鶴見辰吾		松尾
	林泰文		橘誠司
	中村育二		岡崎俊一
	半海一晃		山下孝志
	品川徹		望月靖男
	石田ゆり子		牧野京子
	石橋凌	Ryo Ishibashi	沢木和之

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.